

練馬光が丘病院運営連絡協議会議事録

日 時：平成27年11月17日（火）15時00分～16時00分

場 所：練馬光が丘病院 地下1階大会議室

出席者：区民代表…金重公募委員、古賀公募委員、高橋公募委員、小林公募委員

区議会議員…上野議員、島田議員、宮原議員

医療関係者…市川練馬区歯科医師会会長、白戸練馬区医師会副会長

学識経験者…上野練馬区社会福祉協議会会長

区職員…清水地域医療課課長

練馬光が丘病院…川上管理者、光定副管理者、亀谷事務部長

オブザーバー…

【練馬区】岡村地域医療課係長、上田地域医療課主任

【練馬光が丘病院】黒木副院長、徳重副院長、越永副院長、藤岡副院長、薬真寺看護部長、高瀬事務次長、山口総務課長、渡部医療情報課長、鎧塚医事課長代行、小森地域連携相談センター係長

欠席者：今井田園調布学園大学准教授

1. 開会挨拶・委員交代紹介

- ・新規委員 練馬区議員 上野ひろみ様
- 練馬区議員 島田拓様
- 練馬区議員 宮原よしひこ様
- 練馬区歯科医師会会長 市川弘之様
- 練馬区地域医療担当部地域医療課長 清水輝一様
- 練馬光が丘病院副管理者 光定誠
- 練馬光が丘病院事務部長 亀谷展丈

2. 管理者挨拶

3. 運営状況について

①利用状況、重点医療について

【内容説明】

- ・別紙資料1～7参照（鎧塚医事課長代行）
- ・別紙資料8参照（上田練馬区地域医療課主任）

②地域活動

【内容説明】

- ・別紙資料9参照（小森地域医療相談センター係長）

【質疑応答】

- ◆島田委員 ①日大時代と比較し小児科患者数が同等になっていないが立て替えを機に、小児医療をどのようにしていこうと考えていますか？②周産期について、更なる連携強化

を図ると聞いているが、区の説明にある現状が整っているというのはどういうことでしょうか？

- ◆川上管理者 現状では質量ともに日大時代と同等の対応ができる体制となっており、今後は地域の需要に応じた体制を取って行きたい。周産期については、日本全体で医師の確保が困難となっているが、この地域の医療を担うということでは体制を整備して行くという方向で考えています。
- ◆古賀委員 ①資料1の職員数で看護師が減少しているが、市中病院では病床数に対し1対1ぐらいの所が多いが、募集しても来ないのか？充足してるのか？②顧問職や管理部門の医師は医師数に入っているのか？お聞きしたい。
- ◆川上管理者 医師数については、常勤顧問は常勤として入っており、規定の日数時間を満たしています。看護師の募集については、誠意努力をしている。
- ◆葉真寺看護部長 看護師の募集については、常時行い離職防止にも努めています。7対1については、傾斜配置をしながら進めています。
- ◆古賀委員 看護師数は何人が適切なのでしょうか？
- ◆葉真寺看護部長 4月に配置した300名が概ね定数と定めています。
- ◆川上管理者 協会として浦和に看護学校を持っているが、それ以外の看護学校への募集や奨学金制度の紹介を行っているが、全国的に看護師が少ない状況となっている。引き続き努力して行きます。
- ◆高橋委員 看護師の問題は、業界全体の問題となっており、仕事のきつき以上に子育てによる離職が多くなって来ている。保育施設の整備等を各病院でも行っているが、病院だけではなく、行政のバックアップが必要となっています。
- ◆古賀委員 資料1と資料5の救急車搬送数と初診救急車搬送の人数を確認すると100人程違うが、それは再来の急患ということでよろしいか？
- ◆光定副管理者 それでよろしいです。
- ◆金重委員 資料9主な地域活動の区民講座10月31日に三自治会健康講座とありますが、これは私がお願いして光が丘公園南クラブで行って頂いたため、訂正をお願い致します。
- ◆高橋委員 協会はわずか3年で予想以上に早急に対応して下さいました。日大の事は忘れて、気になさらず、是非独自の道を歩んでもらいたい。
入院外来がこれだけ伸びてくると、待ち時間や座る場所の問題が出てきております。物理的に難しいかもしれませんが、座るスペースの確保をご検討頂けないでしょうか？
- ◆川上管理者 この件につきましては、以前からご指摘を頂いおり、診療科ごとに待ち時間の差が出ており、個々の患者様がどのくらい待っているかは、システムで把握できるようにはなっておりますが、中々それだけでは改善されません。平均1時間を超えてしまっている診療科については、できる所では医師の数及び日数の増加という努力をしています。特に消化器系統の待ちスペースが狭い事と待ち時間が長くなっていることについては、お約束はできませんが、患者呼出表示板の数を増やして、離れた場所で待てないかを検討している所です。
- ◆宮原委員 第1階医療機能連携委員会とはどのような内容なのでしょうか？

- ◆小森係長 年2回、練馬区、当院、順天堂病院、練馬総合病院の関係者が集まり、連携に関する会議を行っています。
- ◆白戸委員 医師会が開催させて頂いており、練馬区の大きな病院3つとスズキ病院の担当者を集まって頂き、病院間での連携を良くするための会議となっています。
- ◆白戸委員 先程島田議員からあった小児救急の件ですが、日大光が丘時代に全体の6割を診て頂いている状況であったため、医師会が病院の負担を減らすように3夜間休日診療所で吸収させて頂いております。今後は、医師会は入院の必要のない1次医療を担当しており、練馬光が丘病院には2次医療の重傷患者を診てもらおう為に、逆に空ける必要があり、発熱程度は医師会が対応し、後方病床として練馬光が丘病院に対応して頂くため、基本的に以前ほどの患者を診て頂く必要はないと思われます。
- ◆小林委員 受診者の年代別の資料はありますか？
- ◆川上管理者 データはありますので、後日送付させて頂きます。
- ◆小林委員 病床の利用率は80%が理想と思われますがどうでしょうか？
- ◆川上管理者 利用して頂く患者数を増やすためには、診療の幅と深さを整備するという努力と、救急患者を断らないように情報の徹底及び診療間での連携が大切と考えています。ただ、物理的に狭いため、部屋によっては6床あったとしても、機械を入れてしまうと使用できない場合や、小児病棟が50床あるが、季節変動が激しい性質があるため、現状では利用率が上がり難い状況となっています。

4. 次回日程について

- ・ 3月下旬を予定